

# アイテムしごと探検隊

おいしいだけじゃない?  
マヨネーズ作りの裏側を探る!



今回の探検先は…

**キューピー**



伊丹工場

●探検実施日：2015年8月20日(木)



日本で一番多くのキューピーマヨネーズを作っている伊丹工場。昭和13年に建設され、今年で77年目を迎える。350人の従業員が働いており、マヨネーズの他にも、スイーツなどに使う液卵や、ゆでたまご、半熟たまごを製造している。また、マヨネーズ製造工程を見学できる工場見学（オープンキッチン）も随時受付中。



## 感想コーナー

- とても身近なものだけど、作るところをみて、とくべつな食べ物に見えました。
- みんな大変そうでいそがしそうで、みんなにやさしくしてくれて、たのしかったです。
- 安全にマヨネーズを作るために、いろいろな工夫がされていた。

キューピー株式会社

伊丹工場 夢多<sup>めう</sup>採り推進チーム 広報担当 中西 麻依さん



ぜひ夢をもってがんばってくださいね。キューピーでは、工場見学を「オープンキッチン」と言いまして、お家の台所のように、作っているところを直接見てもらいたいという想いでやっております。また、遊びに来て下さいね。

オープンキッチンのお問い合わせ  
TEL:06-6422-1537

### ●「アイテムしごと探検隊」ご協力のお願い

訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会と一緒に提供していただけませんか？

お問い合わせはアイテムまで 0120-938-989

### 手作りマヨネーズの味は…

見学を終えると、手作りマヨネーズ体験の始まりだ。材料はお酢、塩と油、そして卵黄のたつた4つ。「油はゆっくりと注いで、素早く混ぜましょう」という中西さんのアドバイスを聞き、一生懸命作る子どもたち。だが、なかなか上手に混ざらない。「心を込めて作ることも大切です」と学ぶと、作る手に力が湧いてきたようだ。完成した手作りマヨネーズを試食すると、子どもたちはおいしい笑顔でいっぱいになった。



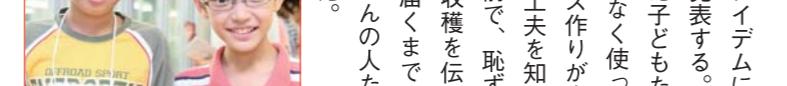
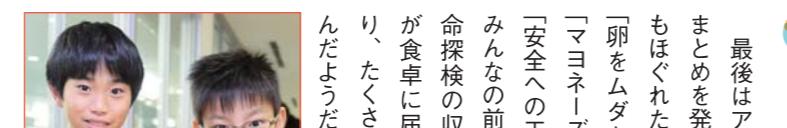
### キューピーのいろんな仕事

まずは話をしてくれたのは、営業の中元さん。「何度も足を運んで、提案したプランが採用されると嬉しい」と教えてくれた。反対に「レストランや給食などの業務用の商品は重くて、力仕事です。取引先との価格の交渉も苦労します」と聞き、子どもたちは働くことの大変さも学んだ。続いて、工場の管理や業務改善を担当する徳重さん。「今日、私が最初にした仕事は蛍光灯の交換です。みんなが快適に見学できる環境を整えるのも私の役目です」と話してくれた。



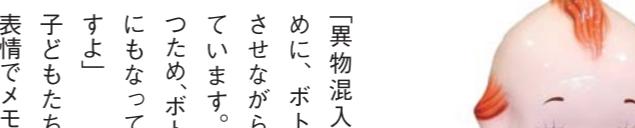
### 探検で学んだことを伝えよう！

最後はアイテムに戻って、グループごとにまとめを発表する。探検前と比べると、緊張もほぐれた子どもたち。「卵をムダなく使つていてすごいと思った」「マヨネーズ作りが楽しかった」「安全への工夫を知ることができてよかったです」など、子どもたちは真剣な表情でメモを取った。



今回16名の子どもたちが訪れたのは、大阪市内から車で約30分のキューピー伊丹工場。バスの中には、工場の外壁に描かれている「こんな場所で、マヨネーズを作っているなんて知らなかつた！」と興奮する声があがる。工場では、原材料の有効活用やボトルに施されている工夫など、普段、何げなく使っているマヨネーズ作りの裏側を知ることができます。さあ、いよいよ探検の始まりだ。

場見学の時間だ。まずは、全身のほこりを落としてくれる工場では、ガラス越しにマヨネーズの製造工程を実際に見ることができます。「割卵機は1分間で600個の卵を割つります」と聞き、驚く子どもたち。そして、工場に隠れている様々な工夫を教えてもらつた。続いては、アシャワーを体験。見学コースでは、実際に見ることができる。



### マヨネーズ作りの舞台裏！



### ボトルのキャップは何色？

最初に、見学担当の中西さんからマヨネーズや工場についての説明を聞いた。「キューピーマヨネーズのキャップは、何色あると思う？」と子どもたちに投げかけると、1色2色と声が上がる。答えは、おなじみの赤色に加えて、白、緑、黄色、ピンク、オレンジ、水色の計7色だ。製品によつて色が分かれていると聞くと、驚きの声があがる。

